

高山技研 合同会社

ステンレスなど難削材の
精密円筒研削加工に強み納期相談
企画力
自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

0.001mmレベルの高精度の研削加工を追求する

主な事業内容

円筒研削、内径研削、
各種精密研削加工およびバフ研磨

主な取引先(納入先)

工作機械部品メーカー、
半導体搬送装置部品メーカーなど

主な製品

工作機械部品、半導体搬送装置部品、
印刷機械部品など業務
内容創業は平成27年の
若い企業

高山技研は、精密円筒研削加工を主力とする。ステンレスや硬質クロムめっきなどの難削材加工を得意としており、工作機械や半導体搬送装置、印刷機械、農機などで用いられる多種多様な円筒状部品を加工する。幅広い業界から依頼を受けている。

創業は平成27年、法人化は平成29年と、まだ若い企業だ。創業者で現代表社員の高山尚貴氏は自動車メーカーを退社後、東大阪市内の精密測定ゲージ製作会社で技術を磨き高山技研を立ち上げた。令和5年にCNC円筒研削盤と内面研削盤を相次いで導入し、研削技術の向上に努めている。

強み
Webマーケティングに
力を入れる

同社の強みは0.001mm、0.01mmレベルの高精度で、難削材の研削加工ができる点だ。内面研削盤を導入し、円筒の内径も外径も社内で研削加工を行えるため、短納期で高品質の製品を納入することができる。加えて、協力工場とのネットワークにより旋盤・フライスなどの機械加工から表面処理まで

社長あいさつ

代表社員
高山 尚貴さん

“広い視野を持ち、考え、理解し知識を深め、世界に必要とされる会社”をポリシーに、研削を通じて全国、世界の何かの役に立てる企業をめざします。また、次世代に日本のものづくりの素晴らしさを動画で伝えたいという強い思いもあり、研削業の枠にとらわれず、様々なチャレンジを続けていきます。

主な保有設備

- 汎用円筒研削盤 G-40
シギヤ精機製作所製 1台
- 汎用円筒研削盤 G-30
シギヤ精機製作所製 1台
- CNC円筒研削盤
GE4Pi-100
ジェイテクト製 1台
- 内面研削盤 GIS-200SH
科学計器研究所製 1台

大阪
05住 所 / 〒577-0827
東大阪市
衣摺5-1-7

T E L / 06-6720-2179

F A X / 06-6720-2179

創 業 / 平成27年4月

設 立 / 平成29年12月

資本金 / 200万円

従業員 / 2名

施した完成品を、ワンストップで対応する生産体制を整える。

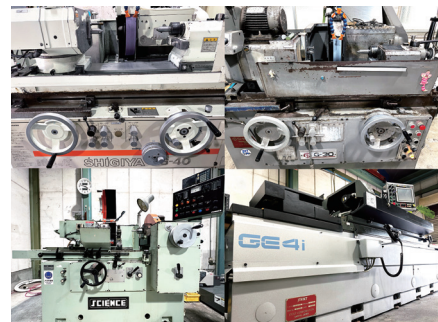
顧客のほとんどを、動画を多数アップした自社ホームページや、情報発信を積極的に行っている各種SNS経由で獲得している。また、「自分の好きなことと仕事を関連付けている」と説明する高山氏は、動画編集に係るノウハウの伝授も業務としている。これも同社の特徴の一つであり、動画制作のサポートを通じて顧客との結び付きを強化できるメリットがある。

自社
製品
高評価で受注が伸びる

同社は、高度な研削技術力を生かした自社製品「テストバー」を販売している。テストバーとは、工作機械や測定機器などの平行度や直角度、回転軸の振れなどを計測するために使用する器具。同社のテストバーは、国立の工業大学に納入、高評価を得たという実績がある。「購入した企業から大変満足いただいているが、企業向けだけでなく、卓上旋盤などを使用する個人事業主からの受注も伸びている」と話す高山代表。新たな事業の柱になると期待される。



精度を確認するための「テストバー」



円筒研削盤などの保有設備


<https://tg2179.com/>